

## 都築電気株式会社様

# データ解析など最新技術を応用して “見える化ソリューション”をご提案

都築電気様は、2016年4月に新部署シンギュラリティグループを発足させ、ここで蓄積したAIやIoTなど先端技術に関するノウハウと、Text Mining Studio (以下TMS) やVisual Mining Studio (以下VMS)、BayoLinkS、S<sup>4</sup> Simulation System (以下S4) による分析結果をマッチング。ヘルプデスクの業務改革や働き方改革といった、新時代のソリューションやサービスの展開を目指している。

### Interview

#### AIなど次世代技術の応用を視野に、新部署を発足

シンギュラリティグループの役割を教えてください。

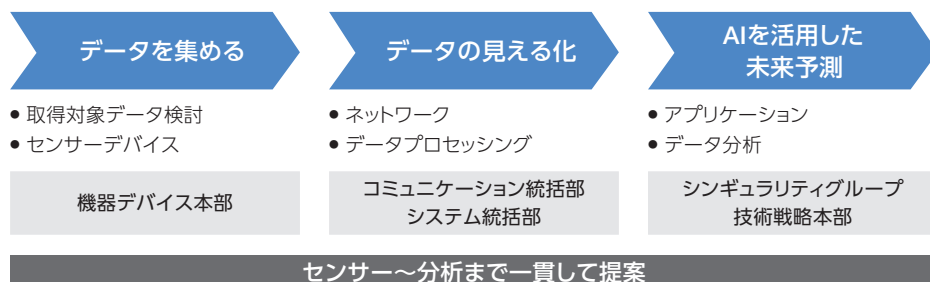
**森** AIやIoTなど新技術の進化が急激に進んでいます。それら次世代の技術をいち早く先取りしてシステム展開したり、ご提案したりするための調査・研究部署として立ち上げられたのがこのシンギュラリティグループです。シンギュラリティとは、AIが人間の文明に大きな影響を及ぼすようになる「技術的特異点」のことで、2045年に到来すると言われています。まさにそこを見すえた部署だとも言えます。グループ内にはAIやIoT、ロボット、データ分析、ブロックチェーンなど各分野のスペシャリストがいて、私は主にAIとデータ分析を担当しています。当社は、情報ネットワークソリューションサービスと電子デバイスの2つの事業展開をしています。お客様から新しいアイデアを求められたとき、シンギュラリティグループのスタッフが担当営業やエンジニアとともに伺いして、ご提案やサービス提供を行っています。当グループは発足から2年目ですが、今さまざまなお客様とビジネスが進み始めています。

TMSやVMSはどのようにお使いですか。

**稲葉** 私は知的財産のソリューションを担当していて、シンギュラリティグループ発足以前の2014年前後から特許文献の分析などを行っていました。産業技術総合研究所の人工知能技術コンソーシアムに参加するなどして知識や人脈を広げていくうちに分析ツールとしてTMSやVMS、BayoLinkSを使い始め、NTTデータ数理システムともアライアンスを組むようになりました。

そのような中、お客様のヘルプデスクやネットワーク保守サポートで蓄積したテキストなどのデータを、目的に応じて分析・整理したいという声が上がってきました。そのとき、私がこういうツールがあるよ、と社内に紹介したのが導入のきっかけです。TMS、VMS、BayoLinkS、S4はシンギュラリティグループのメンバーのほか、お客様のサービス担当部署のスタッフなども使いこなしています。

#### 都築電気様の得意分野



都築電気株式会社  
 シンギュラリティグループ  
 森 梓 様



都築電気株式会社 産業営業統括部  
 第二営業部 第二営業課  
 稲葉 隆士 様

#### PROFILE

##### 都築電気株式会社様

1932年創業。製造、流通・サービス、医療・福祉、公共・文教分野、金融分野などで幅広くソリューション&サービスを提供。資本金98億1,293万円、連結売上高1,051億4,900万円(2017年3月現在)、東京証券取引所市場第二部上場。

#### 【お問い合わせ先】

データ解析～ソリューションの詳細は、こちらへお気軽にお問い合わせください。

都築電気株式会社  
 製品・ソリューション  
 お問い合わせ窓口

Email:  
 webinfo@tsuzuki.co.jp

**データ分析を活用してヘルプデスクの業務改革を行ったそうですね。**

**森** システムのヘルプデスクで、その問い合わせ内容の整理・分析をTMSで行っています。それまではユーザーからの問い合わせのデータを、各担当者がExcelでマージしてカテゴリ分けしていました。しかしデータ入力のフォーマットがバラバラで統一されておらず、さらに担当者の主観が入っていることもありました。チャットボットを利用して自動化するプランがあったのですが難しい状況でした。そこでTMSを使ってテキストマイニングしたところ、「ここにシステムの問題点がありそうだ」「パソコンを切り替えるとパスワードの問い合わせが増える」といった課題や問題が具体的に見えるようになり、運用改善など次の提案がしやすくなりました。分析はTMSを使って当社のお客様担当スタッフが行っていますが、これまでのExcelに比べ作業が簡単で、テキストデータを見やすく辞書ごとにまとめてくれるので作業効率も良くなったと高く評価されています。

**センサーとデータ分析を組み合わせたシステムも開発中とのことですが。**

**稲葉** 人事給与システムや非接触バイタルセンサーとVMSを組み合わせて、従業員の健康管理システムを企画中です。従業員の就業時間データの分析やマイクロ波による非接触のバイタルセンサーで収集した社員の心拍、体の動き、呼吸を計測し「見える化」します（写真参照）。各種データをVMSとBayoLinkSで解析することで、社員が働きすぎたり疲労が蓄積したりしていないかどうか傾向を割り出して、適切な労務管理や人事による能動的な社員フォロー活動につなげることを目的としています。当社では「健康経営の実践」を重点施策の一つとして社内の働き方改革を進めていますが、その一環として開発しているシステムです。機器は実証実験中ですが、展示会で発表したところお問い合わせをいただき商談が進んでいます。



開発中のバイタルセンサー（写真左下、手元のデバイス）の作動状況。USBでパソコンにつなげば、心拍、体の動き、呼吸をモニターできる。

当社には各種センサーを使った機器デバイス開発のノウハウがあり、またアプリケーションも社内で開発しています。ですから、取得したいデータに最適なセンサーをアプリケーションまで含めてご提供することが可能です。今後、IoTにより各種センサーの重要度がますます高まっていく中で、この点は当社の強みとなっています。

**企業様にメッセージをお願いします。**

**稲葉** 当社は各種センサー技術により「データを集める」ことができます。それをTMS、VMS、BayoLinkS、S4により「見える化」し、さらにシンギュラリティグループの知見によりお客様にまったく新しい価値をご提供していきたいと考えています。ヘルプデスクの問い合わせ内容や社員の働き方もそうですし、製造現場での機械やモノの動きの把握、生鮮品市場での季節や天候に応じた仕入れ計画など、これらは今当社とお客様の間で進んでいる案件でもあります。また、今2025年問題が注目されています。製造プロセスやモビリティ、健康・医療、流通、インフラ・産業、保安、エネルギー、行政などあらゆる分野で業務ノウハウの「見える化」とその伝承が急がれています。こうした面からも、当社がお役立ちできることはたくさんあると思います。課題を解決したい、次のアイデアが欲しい、そんなときはお気軽に当社までお問い合わせください。

**データ解析からソリューションまで、幅広い業種対応と全国規模の都築電気様をご利用ください。**

幅広いお客様を通して得た各種業務の豊富な知識や経験と、全国的な拠点ネットワークが都築電気様の大きな特徴です。加えて機器デバイス部門や、先進的で特徴的なシンギュラリティグループという部署もお持ちです。こうした充実したリソースにより、各種データ解析を起点としたソリューションから運用サービス展開まで、ワンストップで全国規模の対応が可能です。皆様のパートナーとして、ぜひ都築電気様もご利用ください。

株式会社NTTデータ数理システム  
Text Mining Studio開発リーダー 古賀 久芳（右）



森様（中央）「宇宙パイロットになることが夢で、東京理科大で物理学を学びました。数学的な課題はお任せください」  
稲葉様（左）「法政大学機械工学科卒業、機械工学が分かるIT営業として活動しています。知財管理や工場現場の改善ソリューション提案は得意分野の一つです」